

新たな事業がスタートします！



市内児童の体力・運動能力低下に歯止めをかけるべく、昨年度、玉川小学校で行われていたわくわく遊び隊。対象児童を一年〜三年とし、そのうち六十五名が放課後、校庭や体育館で体を動かしました。

体を動かすことの大切さを知る

この度、塩竈市より委託を受け、特定非営利活動法人塩釜市体育協会が行う運びとなりました、その名も「塩竈アフタースクール事業（わくわく遊び隊）」です。

塩竈アフタースクール事業（わくわく遊び隊）

期間は約二年間。市内の小学校で段階的に行っていく予定です。仲間と一緒に楽しく身体を動かしましょう。

↑参加児童の成長を図にしたもの

楽しかった

- いろいろな種目があった
- いろいろな人と遊べた
- コミュニケーション（能力の向上）
- いろいろなことが上手になった
- 運動能力の向上・自信

わくわく遊び隊では、運動の基礎になる「投げる」「走る」「跳ぶ」を軸に運動。中でも子ども達が楽しかった種目、トップ3はドッジボール・鬼ごっこ・サッカー。この三種目で行った運動は、どの学年でも子ども達自身が上達したと思うことに含まれていたのです。このことを鑑みるに、上手になると自信がつき、より楽しくなるのだと分かりました。放課後すぐに行われる学校

体協スポーツニュース

スポーツ広報委員会

平成29年
8月号
Vol. 30

子どもの成長や生活習慣の改善

基礎
投げる
走る
跳ぶ

楽しかったこと
トップ3
ドッジボール
鬼ごっこ
サッカー

上達したこと
ボールキャッチ
足の速さ
ボール運動

子どもの成長や生活習慣の改善

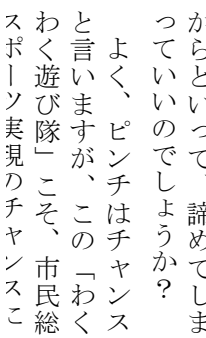
↑参加児童の体や心の変化を図にしたもの

が、子ども達の「心」の成長や「生活習慣」の改善にも繋がり、日常、身体を動かすことの大切さを知ることが出来ました。

新・わくわく始動

今年度、塩釜市体育協会は「塩竈アフタースクール事業」として、わくわく遊び隊を塩竈市から委託されました。

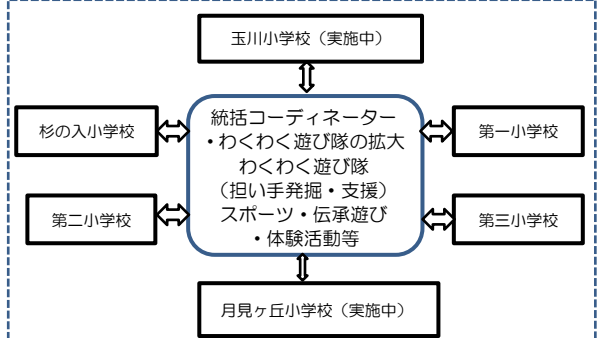
昨年度は玉川小学校のみでの開催でしたが、今年度は月見ヶ丘小学校でも実施。他の市内小学校も段階を踏んで実施する予定です。塩釜市体育協会職員だけでなく、加盟単位協会や地域の方、ボランティアの力も借りて



市民総スポーツへの道

塩釜市体育協会では、以前から「市民総スポーツ」を目標に掲げてきました。世の中は忙しく実現が難しいのが現状です。だからといって、諦めてしまっていないのでしょうか？

よく、ピンチはチャンスと言いますが、この「わくわく遊び隊」こそ、市民総スポーツ実現のチャンスこそ、市民総



↑わくわく遊び隊校内活動のイメージ

わくわく遊び隊 Q&A

- Q・子ども達の活動を支えるスタッフはどんな人？
A・塩竈市スポーツ推進委員・塩釜市体育協会・塩竈フットボールクラブのように専門的な資格を持つ人たちが複数で活動にあたります。
- Q・どんな運動をするの？
A・走る(氷鬼/尻尾取り等)
・投げる(ドッジボール/背面投げ等)・跳ぶ(ケンケン/移動ジャンプ等)などの基本的な運動です。
- Q・年度途中からの参加は可能ですか？
A・可能です。
※この事業は、子ども達が継続的に取り組むことで、運動に親しみを持ち、更に基本的な運動能力を形成することを目的としているので年間を通して参加することをお勧めします。



おらほの☆お元気さん



大谷 久美子さん (71 歳)

自分が手本としていらっしゃる方が七十七歳まで続けておられたので、まずは、そこを目標に、今後も励んでいきたいと思えます。

バドミントンを始めて、約三十年になります。
以前住んでいた所で、バドミントンに挑戦してみようと、道具を一式揃えていたのですが、宮城に引っ越すことが決まり、やれず仕舞いに。だから、こちらに引っ越した後、塩竈市体育館（現：塩釜ガス体育館）のバドミントン初心者教室を見つけた時、すぐに申し込んだんです。
バドミントンの魅力は、将棋のように相手の手を読むことですね。自分が打ったシャトルを、相手がどう返してくるか、それをどう返したら決まるのかを瞬時に考えます。そうして、見事にハマった時、とても気持ちがいいです。
私がいるクラブは初心者から上級者まで、たくさんの方がいますが、初心者でも上達できるように、上級者の方が指導してくれます。ギスギスしてないので本当に楽しいですよ。
年に一度、仲間同士で温泉に行くんです。今年はオニコウベに行って、鳴子温泉に泊まりました。途中で道を間違ってしまったんですが、道端に自生していたワラビを見つけて、むしろラッキーだったかな。バドミントンを始めてから、体力がついて、気持ちも前向きになりました。

一緒に汗をかく仲間と出会えて嬉しいです



今回、学生・指導者・保護者合わせて、五十五名の参加がありました。が、なかでも多かったのは、スポーツ少年団や部活動で汗を流している小・中学生。体幹トレーニングやスト

当日は仁接管院院長・柴田匡一郎先生とスタッフ四名を講師に迎え、傷害予防の為の知識や技術を学びました。

去る平成二十九年七月八日（土）塩釜ガス体育館第二競技場にて、平成二十九年度スポーツ講習会「スポーツ傷害予防フォーラム」が開催されました。

怪我を予防し
パフォーマンスを高めよう
スポーツ傷害予防フォーラム



レッチの仕方など、毎日スポーツに打ち込んでる彼らにこそ、今一番タイムリーな内容だったことでしょう。
受講者からは『ためになるストレッチや運動ばかりで明日にでもやってみようと思いました。』や『スポーツをするだけでメンテナンスは誰も指導してくれないので、しかしとても重要だという事がまさに体感できました。ありがとうございました。』など、感謝の感想が多数聞こえました。
さて、この「スポーツ傷害予防フォーラム」、今年度は一年を通して開催予定（九月・十一月・十二月）ですので、今回、残念ながら受講出来なかった方、次回も受講したいと思った方、是非、ご参加ください。



平成 29 年空手道発表会

平成 29 年空手道発表会
塩竈市空手協会 塩竈 宏武会

平成 29 年 6 月 18 日、塩釜ガス体育館第二競技場で塩釜市空手協会 鹽竈宏武会主催の「平成 29 年空手道発表会」が開催されました。

以前は毎年行っていたこの発表会、東日本大震災以来休んでいましたが、満を持しての開催です。基本稽古、ミットを使った稽古を発表した後、紅白に分かれての組手試合がありました。ただ勝敗を決めるだけでなく、「突いたらきちんと腕を引く」といった、形に対する指導も行われ、指導を受けた子もそうでない子も、師範の言葉へ真剣に耳を傾けていました。



発表会の最後を飾るのは、一枚の厚みが 1 cm のベニヤ板を割る、試割（ためしわり）。これは希望者のみの参加でしたが、たくさん子ども達が挑戦していました。気合を入れて板に立ち向かう姿は、大きい子も小さい子もみんな同じ。小気味よい音を立てて綺麗に割れた時でも凛々しく、割れない時は割れるまで何度も挑戦する様子が見受けられました。中には 5 枚のベニヤ板に挑戦した強者も。

今回の発表会、一人一人が観覧に来ている保護者の方や、いつも指導に当たってくれる諸先生方に、日頃の鍛練の成果を十分に発表できる良い機会だったのではないのでしょうか。今後の成長に期待です！



編集後記

8 月号も盛りだくさんな内容になりました。毎号そうですが、作っていると、本当にたくさんの方が、スポーツに携わっているのが分かります。そして、それに関わる全ての人が一様に笑顔なのが印象的です。記事と一緒に、その笑顔も伝えられるように精進致します。

PEN☆Y

編集・発行

特定非営利活動法人 塩釜市体育協会
塩竈市温水プール(ユープル)内

住所 〒985 - 0006 宮城県塩竈市字杉の入裏 39-173

電話 022-363-4501 FAX 022-366-0281

E-MAIL pool@npo-shiogama-taikyo.or.jp

塩竈市体育協会

検索